

「龍北中学校の島ユムタ 伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立龍北中学校

2 学年・人数

1 学年（2名） 2 学年（3名） 3 学年（2名）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

令和元年5月～10月 総合的な学習の時間（龍北中学校）
地域取材，物語作り，シマグチ指導 など
令和元年6月8日（土）地域取材（嘉渡集落）
令和元年7月13日（土）島ユムタ校外活動（嘉渡集落の公民館）

（2）発表の日時・場所

令和元年11月3日（日）学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

島ユムタ（しまゆむた）

（2）由来

奄美大島の各地域で古来より使われている方言。古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ，発音にも大きな特徴がある。奄美大島では，「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトゥバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは，今やお年寄りや限られた人たちとなっており，未来を担う若者たちへの伝承が重要である。

（3）構成等

龍郷町立龍北中学校校区には，安木屋場（いんきゃば），円（えん），嘉渡（かど），幾里（いくさと），秋名（あきな）の5つの集落がある。各集落に方言があり，それぞれの伝統行事を題材とした劇のシナリオを作り，それをシマグチで演じている。

5 保存会や地域との連携の具体

まず，各集落にある伝統行事を題材に生徒がオリジナルの劇（年度ごとに取材する集落が変わる）をつくる。その際，伝統行事について詳しい，各集落の高齢者に生徒が直接，取材を行った。さらに，取材をもとに生徒が作成したシナリオを，島ユムタ校外活動として，各集落の公民館にて，老人クラブの方々を指導者に招き，シマグチのシナリオに直していただいた。取材や島ユムタ校外活動については，事前に各集落区長や老人クラブ会長と連携を図り，指導者を紹介していただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島ユムタ伝承活動は，平成16年から本年度で16回目となる伝統的な取組である。これまで，生徒の興味・関心の高い題材をもとに劇を作っていたが，地域の方々から地域の伝統行事を題材にシマグチの劇を作れば，地域を知るよい機会になるのではないかという提案を頂いた。そこで，平成28年度から各集落にある伝統行事や昔話

を題材に劇を作ることにした。本年度は、嘉渡集落に伝わる言い伝えを題材に劇を作り上げた。指導をいただいた老人クラブの方々をはじめ、保護者、地域の方々を学習発表会に招いて感想をいただいた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



地域取材



島ユムタ校外活動でのシマグチ指導



学習発表会での発表



学習発表会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒感想】

シマグチのイントネーションが難しかったけど時間をかけて練習したので、大きな声で自信を持って台詞が言えました。終わった後、多くの方々から褒めていただいたので、充実感がありました。また、地域取材やシマグチの練習を通して、改めて自分の育った地域の歴史が知れて良かったです。

【指導者感想】

シマグチを練習して難しいこともたくさんあったことと思いますが、イントネーションや抑揚を付けて上手に演技できていました。

【職員】

島ユムタ劇に取り組むことを通して、地域の方々との交流や地元の歴史にも触れることができ、大変意義深かったと思う。練習を計画的に取り組めたことが良かった。

【地域・保護者】

- ・ 生徒と先生方が一体となり良かった。方言を学ぶ良い機会となった。
- ・ 島の歴史が分かり、素晴らしかったです。
- ・ 喋りが大変上手でした。いつも使えるようになって欲しいですね。
- ・ 生徒と先生方の息の合った演技に感動しました。いつまでも島、嘉渡が平和でありますように願う舞台劇でした。「素晴らしい」の一言です。